

令和6年9月11日

保護者様

基山町立若基小学校
校長 城戸 幸一

令和6年度全国学力・学習状況調査（6年生）及び
令和6年度佐賀県学力調査（5年生）の実施結果について（概要）

今年の4月全国の国・公・私立学校の小学校6年生を対象に、「令和6年度全国学力・学習状況調査」が、佐賀県の小学校5年生を対象に「令和6年度佐賀県学力調査」が実施されました。今年度分の調査結果の概要をまとめましたのでお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

【全国学力・学習状況調査 6年生の結果】

○生活習慣や学習環境等に関する調査結果の概要（ ）は全国平均

(1) 特に良い傾向が見られる主な項目

- ・「人の役に立つ人間になりたいと思う」100% (95.9%)
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」100% (96.7%)
- ・「普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある」96.5% (91.7%)

他にも、「朝食を毎日食べている」、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」、「タブレットなどのICT機器を活用して、楽しみながら学習を進めることができる」等全国平均と比較して、良い傾向がみられる項目がありました。

(2) 課題が見られる主な項目

- ・「自分の考えがうまく伝わるように、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している」37.9% (67.6%)
- ・「困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」48.2% (67.1%)

等が全国平均と比較して、課題がみられる項目でした。

○教科ごとの調査結果の概要

〔正答率〕	国 語	算 数
若基小学校	73.0%	63.0%
佐賀県	66.0%	62.0%
全 国	67.7%	63.4%

(1) 国語の調査結果概要について

- ・国語全体については、全国平均及び県平均と比べて高い結果であった。
- ・すべての領域で高い結果であったが、特に、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の領域について、よく理解していた。
- ・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える問題については、全国平均と比べて、やや低い結果となった。

(2) 算数の調査結果概要について

- ・算数全体については、全国平均はやや下回ったが、県平均は上回った。
- ・「データの活用」の領域は全国平均より正答率が高く、特に、円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る問題についてよく理解していた。
- ・計算に関して成り立つ性質を利用して計算の仕方を考察する問題と速さが一定であることを基に道のりと時間の関係について考察する問題については、全国平均と比べて低い結果となった。

【佐賀県学力調査 5年生の結果】

○教科ごとの調査結果の概要

〔正答率〕	国 語	算 数
若基小学校	69.1%	68.3%
佐賀県	60.8%	61.1%

(1) 国語の調査結果概要について

- ・国語全体については、県平均と比べて高い結果であった。
- ・「我が国の言語文化に関する事項」、「話すこと・聞くこと」の領域の正答率が高く、ことわざの意味を理解したり、必要なことを聞き取り、話し手が伝えたいことの内容の中心を捉えたりすることができていた。
- ・登場人物の気持ちについて叙述をもとに捉えたり、指定された長さで文章を書いたりする問題の正答率が低かった。

(2) 算数の調査結果概要について

- ・算数全体については、県平均と比べて高い結果であった。
- ・「数と計算」、「図形」の領域の正答率が高く、概数の表し方や角の大きさについて、よく理解していた。
- ・平行四辺形の作図をしたり、2つの数量の関係を、もとの大きさの何倍になったかを考えて比べたりする問題の正答率が低かった。
- ・文章問題の場面を理解し、言葉や数、式を使って説明する問題に課題が見られる。

教科の調査結果より

5・6年生の児童は、日頃から落ち着いて学習に取り組み、課題に対して誠実に向き合うことができています。このことが知識・技能の定着につながっていると思われます。一方で、国語科では登場人物の心情を叙述をもとに捉えること、算数科では数、式、言葉を使って説明することに課題が見られました。そこで、今後は、条件を意識して振り返りや自分の考えを書くなどの表現活動を取り入れた授業の充実や読書活動の充実等により、課題解決に取り組んでいきたいと考えています。

若基小学校の学力向上の取組方針

- 観点や条件を意識した表現活動（書く活動、話す活動など）を取り入れた授業を行うことで、表現力を高めます。
- 単元で身に付ける力を児童と共に確認し見通しを持たせることで、主体的に学習に取り組む児童の育成に努めます。
- 一人一台端末等の ICT 機器を活用した学力向上のための取組を推進します。
- 読書活動を推進し、読解力や想像力を高めます。

保護者の皆様へ（ご家庭での協力お願い）

6年生の調査結果から、朝食を食べる、決まった時刻に起きて寝るといった規則正しい生活ができている児童が多いことが分かりました。また、「〇〇の勉強は好きですか」という問いにも肯定的な回答をしている児童が多く、学習意欲が高いことも分かりました。これらのことが、落ち着いた学習態度と安定した学力につながっています。保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

家庭学習の様子に目を向けると、約 55%の児童が平日も休日も1時間以上学習していることが分かりました。子供たちが大人になったときに、自分らしく自信を持って社会で生きていくためには、自ら考え、自ら学ぶ力が必要だと思います。そのためにも、学校はもちろん、学校という場を離れても進んで学ぶ力を身に付けることが大切です。やらされていると感じやすい勉強ですが、前向きに学習に取り組むことができるよう、引き続き授業改善を進めたり、自己肯定感を高める声掛けをしたりしていきます。ご家庭でも、温かい励ましや支援を引き続きお願いできればと思います。